

研究実施のお知らせ

2024年9月13日 ver.1.0

研究課題名

島根大学病院におけるカプセル内視鏡検査の診療状況

研究の対象となる方

島根大学医学部附属病院で2008年12月から2024年9月までにカプセル内視鏡検査を受けた方

研究の目的・意義

島根大学医学部附属病院(以下:当院)では2008年12月からカプセル型小腸内視鏡検査(以下:カプセル内視鏡)を導入し、主に小腸出血や小腸腫瘍などの小腸疾患の診断を行ってきました。カプセル内視鏡で診断できる病気は年々増えており、クローン病などの炎症性腸疾患や血液疾患に伴う小腸疾患にも使用されつつあります。しかし、カプセル内視鏡を導入している施設は未だ限られており、当院の経験症例を集計して公開することは極めて重要だと考えます。そこで今回、当院のカプセル内視鏡の症例を集計し、背景疾患や治療、治療経過について検討することとしました。

研究の方法

診療録から収集した、当院で2008年12月から2024年9月までにカプセル内視鏡検査を受けた方を対象とします。診療録から収集するデータは、対象者の背景(年齢、性別、併存疾患、常用薬など)や画像検査(レントゲンやCT、内視鏡、血液検査など)、バイタルサイン、身体所見、血液検査値、疾患スコア(日常診療で用いるスコア:便秘スコア、出雲スケール)、背景疾患や最終診断、治療法、治療経過を予定しています。

収集したデータは、島根大学医学部内科学講座(内科学第二)内の外部から容易にアクセスできないパソコンに保管いたします。パソコンにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。研究対象者の識別は研究用の識別番号により行い、その研究対象者リストは収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管いたします。外部への持ち出しは行いません。研究に関するデータ及び関連資料は研究の最終公表後10年間保管し、その後個人の識別ができない状態で廃棄(消去)いたします。

研究の期間

2024年10月(研究許可後)～2025年8月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部内科学講座(内科学第二)が行います。

研究責任者(研究で利用する情報の管理責任者):

島根大学医学部内科学講座(内科学第二) 岡 明彦

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。なお、利用停止のお申し出は、**2025年3月**までにお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者:

島根大学医学部内科学講座(内科学第二) 岡 明彦(おか あきひこ)

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2190